



ネットワークスピーカーおよびオーディオ コラム

取扱説明書

法的情報

©2023 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. All rights reserved.本マニュアルについて

本マニュアルには、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。本マニュアルに記載されている情報は、ファームウェアの更新やその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本マニュアルの最新版は、Hikvisionのウェブサイト（<https://www.hikvision.com/>）でご確認ください。

本マニュアルは、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援のもとでご利用ください。

商標

HIKVISION およびその他のHikvisionの商標およびロゴは、各管轄区域においてHikvisionの所有物です。その他に言及されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

適用される法律で許容される最大限の範囲において、本マニュアルおよび記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISIONは、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の紛失を含むいかなる特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害についても、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくか否かを問わず、本製品の使用に関連して、たとえHIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。

お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援する活動。

記号の定義

本文書で使用される記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ、死亡または重傷につながる可能性のある、リスクの高い危険を示しています。

目次

第1章 Web クライアントによるデバイスの起動.....	1
2.2 ネットワーク設定	4
2.2.1 TCP/IPの設定.....	4
2.2.2 ポートの設定.....	4
2.2.3 デバイスのアクセス設定.....	4
2.3 ビデオ・オーディオ設定.....	5
2.3.1 オーディオ設定.....	5
2.4 Bluetooth設定.....	5
2.5 放送設定.....	6
2.5.1 素材ライブラリ	6
2.5.2 配信スケジュール設定.....	6
2.5.3 戦略設定	7
2.6 アラーム設定	7
第3章 HikCentral Professional Web クライアントの操作	9
第4章 HikCentral Professional コントロールクライアントの操作	10

第1章 Webクライアントによるデバイスのアクティベート

手順

1. お使いのPCのIPアドレスを、デバイスと同じサブネットに変更してください。



このデバイスのデフォルトのIPアドレスは192.168.1.64です。

2. Webブラウザを開き、デフォルトのIPアドレスを入力してアクティベーションページを表示してください。



注意

製品のセキュリティを強化するため、ご自身で強力なパスワードを設定することを強くお勧めします（パスワードは 8 文字から 16 文字で、数字、小文字、大文字、特殊文字のうち 2 つ以上を含む必要があります）。また、特にセキュリティレベルの高いシステムでは、定期的にパスワードをリセットすることをお勧めします。毎月または毎週パスワードをリセットすることで、製品をより確実に保護することができます。

3. ネットワーク内に複数のデバイスがある場合は、IPアドレスの競合によるデバイスへのアクセスエラーを防ぐため、デバイスのIPアドレスを変更してください。デバイスにログインした後、「設定」→「ネットワーク」
→ ネットワーク設定→ TCP/IP に移動し、デバイスのIPアドレスやサブネットマスクなどのパラメータを変更できます。

第2章 Webクライアントの操作手順

2.1 システム設定

「システム設定」の欄では、システム情報の検索、システム時刻やユーザー情報などの設定を行うことができます。「設定」→「システム」に進み、設定を行ってください。

基本情報

「システム設定」→「基本情報」に移動し、設定を完了してください。

デバイスのシステム情報には、デバイス名、デバイス番号、デバイスモデル、デバイスシリアル番号、バージョン情報などが含まれます。「デバイス名」と「デバイス番号」を設定し、「保存」をクリックしてください。

時刻設定

「システム設定」→「時刻設定」に進み、設定を完了してください。タイムゾーンを選択し、NTP時刻同期を選択し、サーバー

アドレス、NTPポート、および間

隔を設定します。

NTP時刻同期を選択して、サーバーアドレス、NTPポート、および間隔を設定します。デバイスは、設定された間隔ごとに時刻を同期します。設定画面へ。また、「テスト」をクリックして、設定が反映されるか確認できます。

手動時刻同期

「手動時刻同期」を選択し、時刻を設定します。デバイスは設定された時刻に基づいて時刻同期を行います。「コンピュータの時刻と同期」をクリックすると、デバイスの時刻はローカルコンピュータの時刻と同じになります。設定が完了したら、「保存」をクリックして適用してください。

システムのメンテナンス

「メンテナンスとセキュリティ」→「システムメンテナンス」に移動し、設定を完了してください。

- デバイスの再起動: 「再起動」をクリックしてデバイスを再起動します。
- アップグレード: デバイスのプログラムを更新する必要がある場合、デバイスをアップグレードできます。デバイスのアップグレードが必要な場合は、アップグレードプログラムをローカルコンピュータにコピーし、「」をクリックしてアップグレードファイルの保存先を選択し、「Upgrade」をクリックしてアップグレードを開始してください。



注

アップグレード後、デバイスは自動的に再起動します。アップグレード中は電源を切らないでください。

- パラメータの復元: デバイスのパラメータを工場出荷時の設定に復元します。工場出荷時の設定に復元
注: アップグレード後、デバイスは自動的に再起動します。アップグレード中は電源を切らないでください。
工場出荷時の設定に復元されます。
デフォルト設定に復元
すべてのパラメータをデフォルト設定に復元します。
- デバイスパラメータのバックアップ: デバイスパラメータファイルをエクスポートするために使用します。同じパラメータでデバイスを設定するために使用できますが、ネットワークパラメータのバックアップはサポートしていません。
 1. [エクスポート]をクリックします。
 2. エクスポートしたデバイスパラメータファイルを暗号化するために、暗号化パスワードを設定してください。

3. **[OK]** をクリックして、エクスポート先の保存先を選択します。
- パラメータのインポート：デバイスパラメータは、デバイスパラメータファイルをインポートするために使用され、ユーザーが同じパラメータでデバイスを設定するのに便利です。
 1. **[□]** をクリックし、デバイスパラメータファイルの保存先を選択して、**[Open]** をクリックします。
 2. **[Import]** をクリックしてプロンプトを表示します。
 3. **[OK]** をクリックし、暗号化パスワードを入力して、デバイスパラメータファイルをインポートします。

セキュリティ管理

「メンテナンスとセキュリティ」→「システムメンテナンス」→「セキュリティ監査ログ」に移動し、設定を完了してください。ログアップロードサーバーを有効にする：有効化ボタンをオンにした後、「ログサーバーのIP」と「ログサーバーのポート」を入力し、「保存」をクリックすると、ログが自動的にサーバーにアップロードされます。

デバイスのデバッグ

「メンテナンスとセキュリティ」→「システムメンテナンス」→「デバイスデバッグ」に移動し、設定を完了してください。

- SSHを有効にする：リモートデバッグが必要な場合は、スワイプしてSSHを有効にできます。SSHを使用してデバイスにログインできます。デバイスのリモートSSHポートはデフォルトで22ですが、必要に応じて変更可能です。デバイスが正常に動作している場合は、セキュリティ向上のためSSHを有効にしないことを推奨します。
- ログの印刷：「エクスポート」をクリックして、ログをエクスポートおよび印刷します。
- ネットワークへのPing：ネットワークアドレスを入力します。「ネットワークへのPing」をクリックしてテストを開始します。

ネットワークキャプチャ：「キャプチャ開始」をクリックしてパケットをキャプチャし、「停止」をクリックしてパケットのキャプチャを停止します。

ユーザー管理

[Configure] → [System] → [User Management] をクリックして設定ページを開きます。**[** をクリックすると、管理者パスワードを変更できます。



注意

- admin はデフォルトのユーザーです。ユーザー名は編集できません。編集できるのはパスワードのみです。
- アカウント情報のセキュリティを確保するため、パスワードは8～16文字とし、数字、小文字、大文字、および特殊文字（!"#%&'()*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~.スペース）を少なくとも含め、ユーザー名を含めないことを推奨します。
- パスワードの長さは8文字未満にしてください。パスワードには1種類の文字のみを含めてください。パスワードはユーザー名と同じにするか、ユーザー名の逆順にしてください。上記のようなパスワードはセキュリティ上のリスクがあります。プライバシーをより確実に保護し、製品のセキュリティを向上させるため、リスクの高いパスワードを強度の高いものに変更することをお勧めします。
- パスワードの強度に関するルール：
 1. パスワードに3種類以上の文字種（数字、小文字、大文字、特殊文字）が含まれている場合、パスワードのセキュリティ強度は「強」となります。
 2. パスワードが数字と特殊文字、小文字と特殊文字、大文字と特殊文字、小文字と大文字の組み合わせである場合、パスワードのセキュリティ強度は中程度です。
 3. パスワードが数字と小文字、または数字と大文字の組み合わせである場合、そのセキュリティ強度は「弱い」とされます。

2.2 ネットワーク設定

2.2.1 TCP/IPの設定

手順

1. **[設定]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[TCP/IP]** をクリックして、設定ページを開きます。
2. ネットワークパラメータを設定します。
3. **NIC タイプ** を選択し、スライダーを動かして **DHCP** を有効にし、**IPv4 アドレス**、**IPv4 サブネットマスク**、**IPv4 デフォルトゲートウェイ**、**MTU**、**優先 DNS** サーバーアドレス、および**代替 DNS** サーバーアドレスを手動で入力します。



注

[テスト] をクリックして、IPv4 アドレスが使用されているかどうかをテストします。

注注 **「保存」** をクリックして設定を完了します。

2.2.2 ポートの設定

ポート設定パラメータには、HTTP ポートと HTTPS ポートが含まれます。必要に応じて、それぞれのポートを設定してください。

HTTP(s)ポートの設定

[設定]→[ネットワーク]→[ネットワークサービス]→[HTTP(S)] をクリックして、HTTP ポートと HTTPS ポートを設定します。

HTTPポート

ブラウザでログインする際は、アドレスの後に変更後のポート番号を追加する必要があります。HTTPポート番号が81に変更された場合、ブラウザ経由でログインする際は `http://192.0.0.65:81` と入力します。

HTTPSポート

ブラウザからのアクセス用に HTTPS ポートを設定します。この場合、証明書の検証が必要となります。

「保存」 をクリックして設定を完了します。

2.2.3 デバイスへのアクセス設定

このデバイスは、モバイルクライアントから操作することがで

きます。手順

1. **[設定]→[ネットワーク]→[動作モード]** をクリックして、設定ページを開きます。
2. プラットフォームアクセスモードを選択します。
 - － プラットフォームアクセスモードとして **「ISUP」** を選択します。 **「有効」** をスライドさせて**プロトコルバージョン**を選択します。
「サーバーアドレス」を設定し、**「ポート番号」**を設定し、**「デバイスID」**を入力し、**「シークレットキー」**を設定します。
 - － プラットフォームアクセスモードとして **「Hik-Connect」** を選択します。
「有効」 をスライドしてモードを有効にし、[サーバーアドレスの後]の **「カスタム」** をチェックしてアドレスを入力します。**検証コード**を設定します。



認証コードは6文字から12文字の英数字で構成され、大文字と小文字が区別されます。デバイスのセキュリティを確保するため、大文字、小文字、数字を組み合わせ、8文字以上のコードを設定することをお勧めします。

3. **「保存」** をクリックして設定を完了してください。

2.3 オーディオ設定

2.3.1 オーディオ設定

「設定」 → **「オーディオ」** をクリックして、設定ページに入ります。**「オーディオ入力感度」** を選択します。

スライダーをドラッグして、**Bluetooth 入力音量**、**オーディオ入力音量**、および**チャンネル 1 出力音量**を設定します。

「保存」 をクリックして設定を完了します。



Bluetooth 入力音量、**オーディオ入力音量**、および**チャンネル 1 出力音量**の設定範囲は0から100です。

2.4 Bluetooth の設定

スマートデバイスとペアリングするために、本機のBluetooth機能を有効にしてください。手順

1. **「設定」** → **「Bluetooth」** をクリックして、設定ページに入ります。
2. **Bluetooth** を有効にするには、**「有効にする」** を選択します。
3. **Bluetooth 名**と**ペアリングパスワード**を設定します。



- ネットワークキャビネットスピーカーおよびネットワーク天井スピーカーに適用されます。実際のデバイスをご確認ください。Bluetoothのデフォルト名は「Audio-」、デフォルトパスワードは「2345」です。
- Bluetoothのデフォルトパスワードは2345です。
- ペアリングパスワードは4文字にしてください。

5. **「保存」** をクリックして設定を完了します。

2.5 ブロードキャスト設定

2.5.1 素材ライブラリ

放送素材ライブラリでは、放送素材を追加および削除できます。手順

1. **[設定]→[放送設定]→[素材ライブラリ]**をクリックして、設定ページに入ります。
2. **「一括インポート」**をクリックしてローカルファイルを選択します。
3. ローカルファイルを選択した後、**「開く」**をクリックして、ファイル内の放送素材を放送素材ライブラリにインポートします。



素材ライブラリの容量は100メガバイト以内にしてください。最大1,000個の素材を保存できます。対応している形式はwavおよびmp3のみです。

4. (任意) 削除する放送素材を選択します。 **「削除」**をクリックすると、対応する放送素材が削除されます。
5. (任意) **「」**をクリックして、素材名を編集します。

2.5.2 スケジュール放送の設定

スケジュールされた放送タスクを追加します。デバイスはスケジュールに従って放送を行います。手順

1. **[設定]→[放送設定]→[スケジュール放送]**をクリックして、設定ページに入ります。
2. **「+追加」**をクリックして、配信スケジュールタスクを作成します。
3. [有効にする] ボタンをスライドさせてください。
4. スケジュールされた**タスク名**を入力します。
5. **タスクの種類**を選択します。
 - － **日次スケジュール**：放送タスクは毎日決まった時間に再生されます。
 - － **毎週のスケジュール**：放送タスクは毎週再生されます。
6. 放送ルールを設定します。
 - 1) **「放送ルール」**を選択します。

オーディオファイル

タイムライン上の青いバーをドラッグ&ドロップし、**「詳細設定」**をクリックして**「オーディオファイル」**を選択し、**「+」**をクリックして、再生するオーディオソースファイルを素材ライブラリから追加します。

音声合成

タイムライン上の黄色いバーをドラッグ&ドロップし、**「詳細設定」**をクリックして**「音声合成」**を選択し、音声コンテンツを入力し、男性または女性に向けて放送するためのパラメータを選択します。



音声テキストの内容には、以下のルールが適用されます：

- 句読点は発音の意味に影響します。句読点は正しく使用してください。数字、中国語、英語の使用規則についてはヘルプをご覧ください。
- 数字の読み上げ設定 **[n1][n2]**：デフォルト設定は自動判定です。**[n1]**を数字の前に追加すると

数字は数字として読み上げられ、数字の前に [n2] を付けると数値として読み上げられます。

- 単語の発音設定 [h1][h2]: デフォルト設定はアクティブ判定です。単語の前に [h1] を付けると単語の文字ごとに読み上げられ、[h2] を付けると単語全体として読み上げられます。
- 数字 0 の英語発音設定 [o0]/[o1]: デフォルトの [o1] では、数字の 0 は英語でゼロと発音されます。文の前に [o0] を追加すると、「o」と読み上げられます。数字の 0 は、数字として読み上げられる場合、つまり [n1] とマークされた場合にのみ有効になります。数値 0 として処理される場合、[n2] とマークされ、マーク n の影響を受けて数値として読み上げられます。

2) スライダーを動かして音量を調整します。音量の範囲は 0 から 200 です。音量が 100 を超えると、音量ゲインが拡大されます。

3) 放送評価を調整します。



視聴率は 0 から 15 の間である必要があります。

4) 再生モードを選択してください。

1回再生

オーディオリストの順序で再生します。各オーディオは 1 回だけ再生されます。

ループ

順番通りに繰り返し再生します。



タスクの種類として「週単位のスケジュール」を選択する場合は、サイクル期間を選択する必要があります。

5) 「保存」をクリックして設定を完了します。

7. 開始日と終了日を選択します。

8. 「保存」をクリックして設定を完了します。

9. (オプション) 放送タスクをコピーします。「」をクリックすると、当日の音声放送スケジュールをその週の残りの日にコピーできます。

2.5.3 戦略の設定

戦略設定を通じて、複数のオーディオ再生戦略を設定できます。

[設定] → [放送設定] → [戦略設定] をクリックして、設定ページを開きます。**[翌日に放送を継続]** を有効にします。これにより、デバイスは翌日の設定時間に放送を継続します。**[保存]** をクリックして設定を保存します。

2.6 アラーム設定

アラーム入力と音声アラーム出力を設定します。

アラーム入力

[Configuration] → [Alarm Configuration] → [Alarm Input] をクリックして、アラーム入力の設定画面に入ります。任意のアラーム入力番号を選択した後、 をクリックして編集画面に入り、アラームの種類、アラーム名、アラーム入力の処理を有効にするかどうかの設定、武装スケジュールおよび連動方法の設定を行います。**[Copy to...]** をクリックして、スケジュールをコピーするアラーム入力番号を選択し、**[Save]** をクリックして設定を完了します。

音声アラーム出力

[設定]→[アラーム設定]→[音声アラーム出力]をクリックして音声アラーム出力ページに入り、音声タイプを設定します。

- 音声タイプを「音声ファイル」に設定する場合は、音声ファイルのドロップダウンボックスから該当するファイルを選択するか、「素材ライブラリ管理」をクリックして該当するファイルを設定します。
- 音声タイプを「音声合成」に設定する際は、音声コンテンツを入力し、声の種類を「男性」または「女性」に設定してください。放送レーティング、音量、再生モードを設定した後、「編集」をクリックして放送スケジュールを設定します。すべての設定が完了したら、「保存」をクリックして設定を確定・保存してください。



注

本デバイスは、武装時間中にのみアラームを鳴らします。

第3章 HikCentral Professional Web Clientの操作

HikCentral Professional Web Clientの詳細な操作については、以下のQRコードをスキャンして、**第2章「ログイン」**および**第34章「放送管理」**を参照してください。



図 3-1 Web クライアントユーザーマニュアルの QR コード

第4章 HikCentral Professional コントロールクライアントの操作

以下のQRコードをスキャンすると、HikCentral Professional Control Clientの詳細な操作方法について、「第2章 ログイン」および「第30章 ブロードキャスト」を参照できます。



図4-1 コントロールクライアントユーザーマニュアルのQRコード



遠くを見据え、さらに先へ